

= 全員が元気に登校し、一人一人のよさが輝く学校をめざして =



# みのり

学校だより 第2号

令和4年5月25日(水)

東根市立小田島小学校

文責 校長 吉田紀子

## 伝承していこう

## 300年の歴史ある小田島田植踊

5月20日に、今年で32年目となる「田植踊開講式」を行いました。今年も教えていただくことができることを大変うれしく思います。

小田島小学校の田植踊伝承活動の歴史について、昨年度の学校だより5月号でも紹介いたしました。平成2年に百周年を迎えた際、記念祝賀会で祝舞「田植踊」が地区民有志によって披露されました。平成3年10月の公開研究会では、研究テーマを「地域素材を生かした授業の工夫」とし、社会科と生活科の公開授業研究会を行いました。授業の他に研究発表として、5・6年生が市無形文化財「小田島田植踊」を披露したのが始まりです。

今年の開講式では、市商工会青年部の皆さんが作成した「mono-katari」～ぼくらがつなぐストーリー～のDVDを10分程度鑑賞しました。「小田島田植踊」が当地区において、いつ頃どんな願いで始まったのかアニメーションで紹介され、令和2年度の5・6年生が運動会で踊った時の様子が映像化されていました。

大ききんに見舞われた江戸時代宝永年間(1704年～1711年)農民の暮らしは一層苦しくなり、神仏に対する心を高め、踊りで「地の神様」の怒りを鎮めようと、村社である蟹沢八幡神社に1708年に奉納したのが始まりであると、アニメでも分かりやすく紹介されていました。

30周年



〈テ-テ衆〉

稲穂を表すふさが  
ついている。

山伏の尺杖をまねている  
山伏の尺杖には「六根清浄」  
を意味する6つの輪がついて  
いるが、同じにはできないの  
で、5つの輪がついている。

土の神様を棒でたたいて  
ふるいたたせる。以前は  
稲くいを使っていた。

今の豊かな実りがあるのも約300年前の先人の努力や祈りがあったからと思いを馳せつつ、今年も勇壮な舞を伝承していきましょう。熱心に指導してくださっている保存会会長の大内信雄様はじめ、保存会の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



〈早乙女〉

踊りを華やかにする  
ために早乙女を設定  
した。「ささら」と  
いう竹で作った楽器  
を持ち、調子とり  
ながら踊ったり、扇  
子で華かさを表現し  
ながら踊ったりする  
ようになっている。



〈太鼓〉

唱(うたい)に調子  
をつけるためばかり  
ではなく、田植踊  
りを神社に奉納する  
前に身を清めるため  
の「氷こり太鼓」も  
設定されている。  
「氷こり」とは、氷  
をかぶり、身を清め  
るためのものである  
が、太鼓でそれを表  
現している。

小田島小学校  
田植踊子供伝承会  
パンフレットより引用